

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚園

ニューヨーク学院(高等部) 創立25周年

●ニューヨーク学院(高等部) 学院長

河野文彦こうの ふみひこ

ニューヨーク学院は、1990年10月23日の開設以来、米国ニューヨークの地において「バイリンガル・バイカルチュラル教育」の理念の下、国際交流を推進してきました。25周年を機に、国際教育研究拠点としての機能の更なる充実を図り、義塾のグローバル化にも寄与するため、記念事業および同募金活動をキックオフしました。

ホワイトボード(電子黒板・写真下段参照)が教室に配備され授業で活用が始まりました。創立25周年記念誌については、開設当初から現在に至るまでの系譜を可能な限り、写真を織り交ぜて編集しました。また、本年11月21日にはキャンパスにて創立25周年記念式典を挙行します。

教育面においては、真の国際的リーダー育成のため、英語教育の更なる強化を中心に据え、2014年1月に設置した学内のタスクフォース「Project 25」の答申に基づく具体的な改革案の一部を新年度から実施しています。また、授業や学習に特化すべき教室棟で課外活動が行われている現状に鑑み、講堂(Auditorium)と課外活動のゾーンを備えたStudent Center(仮称)を建設する方向で準備を進めています。建物の許認可申請は、米国の文化である、一般市民が参加できる公聴会を経て現在申請の最終段階に入っています。さらに、キャンパスのInformation and Communication Technology(ICT)環境拡充とデジタルメディア整備の一環として、9月からキャンパス内での無線ネットワーク(Wi-Fi)利用が始まるとともに、インタラクティブ・



これらの事業を推進するために、創立25周年記念事業推進委員会と同募金推進委員会が設置され、月1回、各事業のリーダーが参加して事業の進捗と協議を行うとともに、募金に関する戦略を検討し進捗を確認しています。創立25周年記念事業募金活動では、総事業費900万ドルに対して、募金目標額が300万ドルとなりました。募金期間は2014年4月から2015年12月までと比較的短期間ですが、目標を達成するべく、基金室をはじめ義塾の関係各部門と連携しながら進めています。創立25周年記念事業は、慶應義塾の国際拠点整備事業としても認知されたことにより、日本に在住する方が義塾にご寄付いただいた場合に所得税控除の対象にもなったことが、本学院のこれまでの周年事業のあり方と大きく異なっていると見えましよう。